

## かけがえのない宝

みなさん、はじめまして。わたしは神学生の星野といいます。今年度から吉祥寺教会でお手伝いをするようになりました。どうぞよろしくお願ひします。コロナ禍のため、まだみなさんと会うことができませんが、いつか顔を合わせるのを楽しみにしています。

これから大人になり、社会に出ていく準備を少しづつしている中学生であるみなさんに、わたしはなにか少しでも役に立つことを書きたいと思いました。それで今回は「わたしたちは何者か」というテーマにしました。みなさん読んで、思いめぐらしてみてください。

わたしたちはカトリック教会に通っています。洗礼を受け、いちおう信仰を持っています。みなさんはおそらくご両親からこの信仰を受け継いだのでしょう。ただでこれをいただいたのですが、実はこれは非常に大きな宝なのです。しかしわたしたちはこの宝の価値を知らずにいることがあります。

では、「信仰」にどんな価値があるのでしょうか。「信仰」はわたしたちに何を教えているのでしょうか。何を与えてくれるのでしょうか。

まず、わたしたちカトリックの信仰は、神様がいるということを教えてくれます。神様は何でもできる方、そしてすべてをお創りになった方です。宇宙も、銀河系も、太陽も、地球も、海も、山も、空気も、花も、鳥も魚も、馬も牛もすべてを創って下さいました。

そしてこれを読んでいるあなたも、神様からつくり、命をいただいたのです。体はお母さんのおなかの中でつくりましたが、あなたの存在そのものを神様はつくってくださったのです。宇宙が創られる前から、神様はずっと心のなかであなたを愛していて、今の時代になって、あなたを存在させて下さいました。これはあなたが神様にとって、かけがえのない大切な存在だということです。そしてこの神様はあなたをつくったままほっぽらかしにしておかれることは決してなく、それどころか、いつもあなたのことを優しい愛のまなざしで見つめ、そばにいてくださっているのです。あなたの髪の毛一本残らず数えていらっしゃるのです。あなたが気にもかけないあなたの足の裏の事さえも、いつも気にかけているのです。あなたが自分自身を愛している以上に、あなたを愛しているのです。あなたの幸せを、いつも心から願っているのです。

あなたが悩みに襲われるとき、幼子の前にいる優しい母親以上の愛で、あなたを助けたいと思っているのです。聖書にこう書いてあります。「苦悩の日に私を呼び求めよ。私はお前を救う。」また、こうも書いてあります。「いつ呼び求めても応えてくださる神、主のような神を持つ大いなる民（わたしたちのこと）が他にあるだろうか。」

また、神様は父親でもありますから、苦しみの体験をとおしてあなたが成長することを願っているのです。そして、あなたがこの世の生涯を終えるときに、御自分のそば近く、つまり永遠の幸せの国、天国に迎えようとしているのです。もし、あなたが神様から離れようとしても、あなたがどんな暗闇の中に住んでも、神様の愛はどこまでもあなたを追いかけるのです。聖書にこのように書いてあります。「闇がわたしを覆い隠せばよい、光が消えて夜になればよいと願ったとしても、あなた（神様のこと）は闇の中でも明るく、あなたの前に暗闇はない。」また、こうも書いてあります。「母親が自分の産んだ子を忘れるであろうか。もし忘れたとしても、わたしはあなたを忘れはしない。」

信仰はこのような神様がいることを、まず、わたしたちに教えてくれるのです。わたしたちは神様の宝物なのです。ですから、わたしたちは生涯のうちで、たとえ苦しみに直面しても、明るく、生き生きとした神様への希望をもって、生きていくことができるのです。